

2009年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録7限目》

投稿者・編集:「防災塾・だるま」中村 俊光
写真提供:「防災塾・だるま」田中 伸二
コメント提供:「防災塾・だるま」佐藤 忠文

- ◆開催月日:2009年11月19日(木)
- ◆開催時間:14:00~16:00
- ◆開催場所:KUポートスクエア14F

◆テーマ/概要◆新潟県中越地震の教訓と防災教育—体験から学ぶ防災教育—

・新潟県中越地震時に長岡市で被災し、地域の復旧・復興に携わった経験から、事前の予防活動や事後の復旧・復興活動の要点について説明する。また震災対応、特に災害に対する事前の備えとして、防災情報の共有化と人的ネットワークの重要性についても説明する。



《講師紹介》

◆教授 澤田雅浩◆
長岡造形大学 教授



◆参考資料として澤田先生が持参してくれました

新潟日報



2009年(平成21年)10月22日(水曜日)

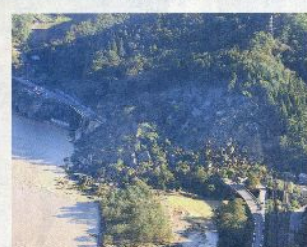
◆中越地震そのものの特徴として、本震から約30分で数度の大きな余震が発生したり、少しずつ震源が移動した為、建物の被害とは関係なく被災者が自宅周辺の屋外やスーパーの駐車場等が避難所として利用された。また、農山村を集中的に襲った為、61集落が「孤立状態」になった。これらの事から、地方都市におけるオープンスペースの避難所としての見直し、指定避難所以外での避難者への情報提供、孤立集落地区の自立可能性を考慮した救助救出戦略等、事前の備えがいかに重要であるかと言う事を再認識させられた内容でした。



司会進行の高橋徳美さん

◆当初、澤田先生には講座第2限目に講師をお願いしていましたが、台風18号の首都圏への影響で本日に延期となりました。有難う御座いました。中村

写真で見える被災地の5年



現在

妙見の崩落現場

2009年10月22日(水曜日)
大規模な地震が新潟県中越地方を襲った。被災地では、道路や橋が壊れ、多くの家が倒壊した。被災者の生活は大きな被害を受けた。被災地の状況は、写真で見える被災地の5年。被災地の状況は、写真で見える被災地の5年。被災地の状況は、写真で見える被災地の5年。